

あらぐさニュース

2014 4

Vol.53

発行/社会福祉法人あらぐさ福祉会 〒362-0051 上尾市地頭方438-6 TEL048-726-5720 048-726-5862(支援センター直通)

入所おめでとう！

今日から、あらぐさの仲間入り！



2014年4月2日（水）、保護者と上尾特別支援学校の担任だった先生も出席し、暖かな雰囲気の中で『高橋祐也』さんの入所式が行われました。

所長のあいさつの後、利用者自治会長から「いっしょに、がんばりましょう」と先輩らしい言葉が送られました。それを受けて高橋祐也さんが「がんばります」と元気よく返事をする姿は立派でした。仲間全員で「キセキ」を歌い歓迎しました。

これから、あらぐさの生活がスタートとします。仲間と一緒にがんばってほしいと思います。
(安達)

新年度のスタートに当たって

理事長 太田 正一

国民生活にとっても厳しい経済状況の中、法人の経営環境も困難を抱えて26年度を迎えることとなりました。

1つは、1月27日に厚生労働省から4月1日からの指定障害福祉サービスの費用額の改定案が示されたことです。

消費税引き上げに伴う改定として報酬全体として平均0.69%の上乗せがされましたが、ケアホームの報酬基準の大幅な改定がされました。

社会福祉法人は、医療機関と同様消費税非課税となっており、法人運営にかかる経費（光熱水費・燃料・旅費等から、事務用品等の物品・修理代などなど）の消費税は、利用者に転嫁することなく法人が全額負担していますから、改定は当たり前のことですが、併せて、グループホーム・ケアホームの4区分を、グループホームに一元化し3区分に統合しされ、これまで、夜間でも支援が必要な利用者がある場合、支援する障害のある人の状態により算定されていた加算が、「夜勤」「宿直」という勤務体制だけの算定に変更されたことです。

実態は、低い報酬単価と人材確保の難しさの中で、ホームを維持するには宿直体制しか取れないのが現実で、多くのケアホームの実態でした。

「あらぐさ」では、6人の男性用ケアホームと、7人の女性用のケアホームを運営していますが、保護者の高齢化が差し迫った課題となっており、障害を持つ仲間たちに早めに自立した生活に慣れてもらうことが大切と考えています。そのため徐々に増えてはいますが、全員が365日利用しているとは限りません、しかし、職員の体制は、利用者が1人でもケアホームで生活する状態になれば、職員を配置しなければなりません。そのため宿直体制で実施してきているところです。

これまで夜間支援体制（夜勤も宿直もOK）が、宿直の場合は大幅に減算するというもので、2か月しか準備期間の無い理不尽な改定案です。また、夜間勤務の人材（特に女性用のケアホームでは女性が支援していますから、人材確保も容易ならないのです。）

現在改定の不当さを「きょうされん」（共同作業所時代からの全国組織）と提携して訴えとともに、利用者の人権と人格をおろそかにできないとして、現実的な対応に頭を痛めています。

2つ目は、消費税の引き上げです。

「あらぐさ」は、日々障害を持つ仲間へ寄り添った運営をしています。公的年金の減額、消費税の負担、所得の低迷の中で、「あらぐさ」の商品を購入いただいているお客様に、共感が得られるよ

うな消費税の取り扱いが必要と検討を進めています。

商品の売り上げは、原材料費等の経費を差し引き、全額仲間たちの工賃となっています。原材料の売り上げ分と消費税負担分は、利用者の工賃を守るうえで重要なことですが、一方売上高が低下しては利用者の工賃が保障されません。

利用者や職員が直接販売する「直売」では、1円単位のお金のやり取りが困難で、10円単位の値上げにさせていただくしかありません。しかし、そのことが結果として、便乗した値上げになったとしたら、お客様のご理解が得られないと考え、その結論が出るまでの間、値上げを凍結することとしました。

厳しい経営環境ですが、障害をもつ利用者（法人内では「仲間たち」と呼んでいます。）の人権と人格を尊重し、仲間たちの今と将来に責任を持った法人運営、安定して継続できる法人経営を、引き続き進めてまいりたいと思っています。

また、「あらぐさ」は、新陳代謝の時代です。職員の人材養成や時代に見合った組織の強化も課題となっています。

引き続き、関係者の皆様の厳しいご指摘と、温かいご支援をお願いするものです。

2014年度 あらぐさの取り組み

2014年度が始まりました。労働と教育の場「雑草」は、新しい入所者を1人迎え、35人でのスタートです。この1年間、全員がこの「雑草」で楽しくやりがいをもって過ごせるよう、今年も様々な取り組みを考え、実行していきたいと思えます。

生活介護事業

主に、健康・体力の維持・向上や生活面での技能の向上を目指していきます。

具体的には、昨年同様、公園での散歩や軽スポーツ、室内でのゲームや創作活動、簡単な菓子作りを予定しています。また、季節を感じながら、梨狩りやイチゴ狩りなどの取り組みも行います。週1回、午後のみ取り組みですが、仲間達にとっては、体力作りや気分のリフレッシュになっています。

就労移行事業

主に、就労をめざして、社会にでるうえでのマナーやルール、就労に必要な知識を身につけます。会社見学を定期的に行い、働くことへの意欲を培うことを最も大切に取り組み、更なるステップアップをはかれる人には就労に向けた実習についても行います。一見、厳しそうな就労移行事業ですが、昨年同様、少人数でのレクリエーションにも取り組む予定です。

就労継続事業B型

それぞれの作業の技術をより高め、給料アップを目指していきます。年1回、就労移行事業と一緒に、社会見学を行います。

菓子作業班

パン・ケーキ・クッキー班に分かれて活動します。今年も、各特別支援学校販売・市役所・伊奈町役場販売、また、各種行事に向けておいしいお菓子・パン作りに励みたいと思えます。その他では、パン班は生協二ツ宮店での委託販売、クッキー班はお中元・お歳暮用クッキーの販売、ケーキ班はバレンタイン等の季節の行事に合わせた商品も用意していきます。

4月から、消費税が8%になります。「雑草」は当面、値上げは行わず、従来の価格で販売を行う予定です。

リサイクル作業班

今年も、缶回収・缶プレス・ペットボトル作業、上尾市役所での自動販売機の入れ替え作業に取り組みます。働きもののリサイクル班の仲間達は、暑さにも寒さにも負けず、たくましく働いています。今年も、仲間たちが更に作業の熟練をはかり、生き生きと働くことができるよう作業の工夫や安全な環境作りを行っていきたくおもいます。

(重松)

新クローズアップ

たける

◎新井健留さんのこと



健留さんは、あらぐさに入所して2年目が過ぎました。リサイクル班では上尾市役所での自動販売機の詰め替えや集金、缶やペットボトルの回収などの外回りから缶選別、缶プレス、缶やペットボトルの納めなどのあらぐさ内での作業までどんな作業でもこなせるオールラウンドプレイヤーです。特に自動販売機の詰め替え作業に関してはリサイクル班で一番です。

作業以外でもとても明るく元気で様々なイベントで中心になって盛り上げてくれる人気者です。

就労先が決まり4月からは新しい職場で働くことになりましたが、持ち前の明るさと元気な挨拶で頑張ってください。

(高野内)

健留が「あらぐさ」に通い始めて、丸二年が過ぎようとしています。リサイクル班の仕事は、夏は暑く冬は寒く、厳しい環境の中で行います。暑さが苦手な健留が、やり続けられるのだろうか最初は心配していました。でも、毎日休むこともなく、元気に今日まで続けることが出来ました。ここまで頑張ることができたのも、職員の皆様と仲間の支えがあったからだと思います。

自分で働いて得たお給料で、好きな食べ物や欲しい雑貨を買えるようになったのも、大きな喜びだったようです。去年は、念願の高圧洗浄機を買って、洗車したり、大雪の日には玄関回りや庭の雪を溶かして掃除をしてくれたりしました。最近では、アロマ加湿器を買って、自分の部屋でくつろいでいます。それ以外にも、リサイクル班の仕事で見たいろいろな缶やペットボトルの絵柄と同じものを探し出し買ってきて、家で飲み楽しんでます。

仕事から得る喜びは、物を買うことだけではなく、新しい発見をしたり、体験をしたり、自分の力で、何かをやり遂げられる、ということだと思います。4月からは、新しい職場で働くことになりました。

また一から、人間関係を築き、仕事を覚えていかななくてはなりません。親としては、不安もありますが、本人の、「頑張りたい」という言葉と、これまでつちかってきた力を信じて見守っていきたいと思います。

今までのように、日々の生活の中で、小さな喜び、楽しみを見出すことができればどんな事でも、一步一步乗り越えていけるのではないかと思います。またそうあってほしいと願います。

最後になりましたが、今までお世話になった皆様、本当に感謝しております。

「ありがとうございました。」

(新井健留の母より)

新コーナー あらぐさ応援団

『雑草』は様々な方々に支えられて今に至っています。その1人ボニータさんを紹介いたします。

お花屋さん「ボニータ」

『ボニータ』は二ツ宮にあるお花屋さんです。スペイン語で「かわいい娘さん」という意味だそうです。もちろんお花も売っていますが、そこで教室を開いたり、様々な企画・活動をしていらっしゃいます。



昨年6月から、雑草に来てボランティアで「フラワー教室」をして頂いています。たくさんの素敵なお花、オアシスやポットまでご用意して頂き、仲間1人1人が個性あるアレンジをして楽しく参加しています。10月は、鶏頭・りんどう・木いちごの葉・バラなど多種類の花を用いて自由に創作しました。「12月は、クリスマスバージョンにしましょう」とお約束して下さい、仲間達の期待は大きく膨らみました。バラやガーベラ等、心がうきうきしてしまう程見事な作品が出来上がりました。2月は、アネモネ・スイートピー・雪柳などの柔らかな春らしい花で『雑草』の階段をかわいらしく飾りました。(相良)

『ボニータ』平塚さんからの言葉

障害を持って生まれることは、たまたまでしょう。私にとって他人事ではありません。だから、何かできないかと思っていました。でも、身近にいないから接することができません。例えば、ここに置いている雑草のクッキーを配達した時に、みんなは車から降りて話したりクッキー並べたりしないでしょうか？このフラワー教室にも障害を持った女の子がきていますが、なかなか目を合わせて話せません。最近「〇〇ちゃん」なんて声をかけていますが、彼女の思いはわかりません。何をしたらいいのか考えてしまうんです。

3年前の震災の時、私は身動きできませんでした。何かしなければと思いながらも、寄付をした位で出来なかった。今でも思っています。多くの人が同じではないでしょうか。

今回の雪害も同じです。栽培農家ではビニールハウスが壊れました。その深谷のチューリップを売っています。売り上げの半分が被害を受けた農家に行きます。『上州の蘭』という切花の出荷組合が、ブログで「同情して欲しいわけではありません。写真を載せますが、倒壊したハウスを見て欲しいわけではなく、前に進んでいる経過として見ていただければと思います」と書いています。私も自分にできることをしているだけです。特別なことをしているわけではありません。

雑草のフラワーアレンジメントで、ブーケの好きな女の子がいるでしょ？終わったあと寄ってきて『ぎゅっ』と抱き着いて「好き」と言ってくれました。なにか感じてくれたのかと嬉しかったです。私の願いは、みんなが花を生けられるのもいいけれど、町であった時に「〇〇ちゃん！」と声かけられるようになります。みんなの胸に名札を貼ってもらったでしょう。何回か続ければ、名前が覚えられると思っています。

(平塚さん談)

『第1クローバーハウス通信…春』

◆第1クローバーハウスとは…

上尾市領家の住宅街にある、知的障害者の共同生活の場です。外観は、普通の民家と変わりありません。2002年11月に開所し、現在6人の男性利用者が生活しています。365日開所です。

〈それぞれの過ごし方…UTさん〉

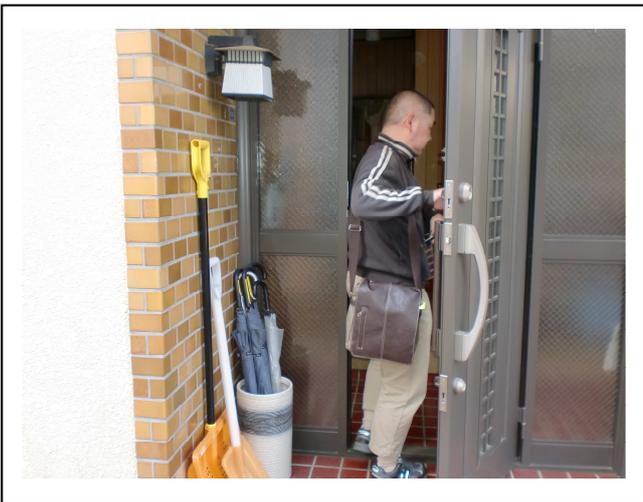
第1クローバーハウスに居る時、食事や風呂の時間以外は、それぞれが好みに過ごすことのできる自由時間です。

普段、北鴻巣まで仕事に出かけるUTさんは、非常に穏やかな人です。他の人との関わりをあまり好まないのも、ホームでは概ね自分の部屋で時間を過ごします。8時20分に仕事に出かけ、18時頃に帰宅する毎日です。その帰宅ですが、他の人に気づかれないように、音を立てずに帰宅するのがUTさんの特徴です。職員が後ろを



(部屋では定位置に座ってリラックス)

(玄関をととても静かに開けて帰宅します)



振り向いたらUTさんが居たということも珍しくありません。どうしたら音を立てずに帰宅できるのか不思議でなりません。気配の消し方はまるで忍者です。

しかし、自分の部屋で過ごしている時は、外に聞こえるくらいの声や音を出している時もあります。機械類やチラシが大好きで、自分で集めてきたものを使ってゴソゴソと何かを工作している姿は本当に楽しそうです。自分だけの空間ではリラックスして過ごしています。

人との関わりをあまり好まないUTさんは、

カーテンを閉めるのが不得手です。職員に言われるまでカーテンは全開にしているので、外の通行人からは部屋が丸見えです。人と接することは気になるようですが、人目は気にならないUTさんです。

(高橋)

後援会のページ

後援会では学習会として、3月4日(火)職員の中富さんより成年後見人制度についてのお話を伺いました。当日は家族の参加も多数あって、和気あいあいとした雰囲気の中、充実した時間を過ごすことができました。

当日参加された方より感想文を頂きましたのでご紹介します。

とてもためになりました。
面倒で大変だけど、やらなければいけないので早速話し合いたいと思います。

言葉は知っていても、よく理解していませんでした。しかし、そう遠くない先に必要だということがわかりました。家族と話し合いながら、子供の将来のことも考えていきたいと思えます。

以前から関心のある内容でした。
個人ではなかなかお話を聞きに行くことができなかったのでとても勉強になりました。まだ本人の年を考えると少し先のことと思っていました。家族で話し合う必要性を感じました。
ありがとうございました。

親族などに任せると、後々トラブルになりやすいという話も聞いたことがあるので、司法書士や税理士などの資格のある人にお任せするのが安心だなと思いました。

家族・親族がない場合、施設に迷惑がかかるということもあるそうなので、すぐにでも相談にのっていただきたいと思います。

親も年をとってくると市役所や税務署などに提出するような書類の管理が、だんだんとできなくなってくると思うので、法的によくわかっている人をお願いするのがいいのではないかと思います。



普段、生活をしていると、なかなかこのようなことを考えることもないのですが、今回の話は色々なことを見つめ直す良いきっかけになりました。

このような機会を与えて下さり、本当にありがとうございました。

(高橋)

お知らせコーナー



今年もやります!! 「あらがさ祭り」

7月6日(日)開催決定!!

今年も沢山の模擬店やお菓子販売、仲間による出し物、イベントなどを検討中です。
キラキラ太陽がまぶしい暑い夏!! 皆様ぜひお越しください!! (^ω^)



雑草クッキー お中元販売

自然の恵みから作られた優しい味のクッキーはいかがですか?美味しく味わっていただくために、焼き上げてからできるだけ新鮮なうちにお届けしています。

6月より受付を始めます。お届け日は、ご希望に添います。

※ご希望で、のし紙もお付けします。ご注文の際に、お申し出ください。ご注文 お待ちしております。



① 200円10個入り 2100円

③ 200円6個入り 1300円



② 300円10個入り 3150円

*この他ご予算に応じて注文を承ります。

※氏名・写真などの個人を特定される記事は、本人の同意を得て掲載しています。

～編集後記～

2014年の春を迎え、一段と暖かくなってまいりました。あらがさも、職員や仲間の入れ替わりがあり、それぞれ新しい生活がスタートし、日々汗を流しながら働いています。

私も入社3年目に突入し、仲間との関わりや業務に追われ、日々奮闘しております。みなさまの「思い」や「願い」に触れ、実現につながるよう最善を尽くしてまいります。

(関口)